

## アルデヒド除去組成物

臭いや発癌リスクの原因となるアルデヒドを効率よく分解できる！

### 概要

飲酒によって摂取されたアルコールは、体内で分解され、アセトアルデヒドとなる。このアセトアルデヒドは、飲酒との酒臭い口臭（熟柿臭）の原因に加えて、近年、発癌リスク因子として問題視されている。この他、加齢臭等の原因物質としては、不飽和アルデヒドに分類されるノネナールが知られている。このようなアルデヒドの除去できる組成物は、臭い低減や発癌リスク除去に有用と考えられる。

本研究者は、酢酸菌に分類されるグルコノバクテラ属の微生物に高いアルデヒド分解活性があることを見出した。

### 結果・応用例

#### <本発明の酢酸菌>

- ・グルコノバクテラ・コンドニイ（単離源：イチゴ）
- ・グルコノバクテラ・カンチャナブリエンス（単離源：バラミツ）

#### <結果>

- ・本発明の酢酸菌は、以下のアルデヒドを効率よく分解した。
- アセトアルデヒド、ノネナール、ヘキサナール

#### <応用例>

- ☆ デオドラント商品 ☆ サプリメント

### 特許データシート

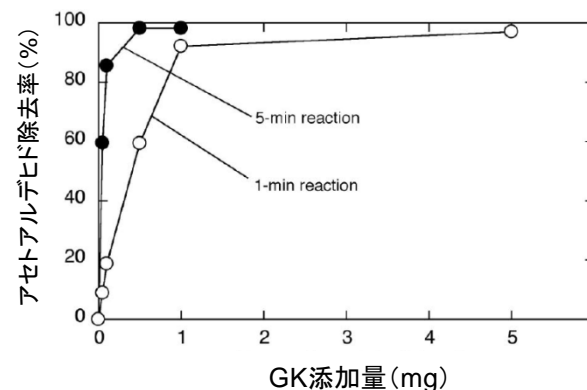
公開番号（移行国）：WO2011/145518（日、米、欧）

登録番号：（日本）特許第 5637209号

発明者：中山亨、細矢美穂、山口晴彦

出願人：東北大学

### グルコノバクテラ・コンドニイ(GK)のアルデヒド除去能



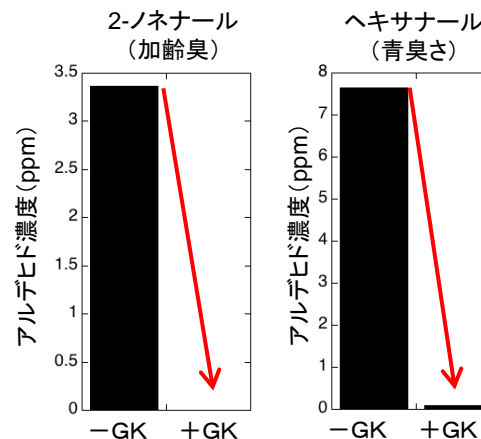
○ 凍結乾燥菌体を水に懸濁し、アルデヒド溶液と混合・反応させ、1分後及び5分後のアルデヒド濃度を測定。

<アセトアルデヒド初期濃度>

- ・反応時間1分：10.1ppm
- ・反応時間5分：11.1ppm

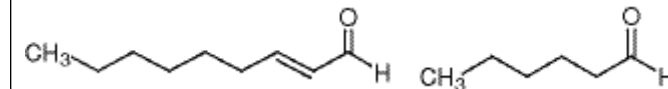


○ 1分間の反応では1mg、5分間の反応では0.5mgの菌体を用いることにより、**90%以上のアセトアルデヒドを除去**できた。



2-ノネナール(加齢臭)

ヘキサナール(青臭さ)



○ 凍結乾燥菌体懸濁液とノネナール、ヘキサナールを混合・反応させ、溶液中のアルデヒド濃度を測定。



○ 本発明の菌体(GK)は、**2-ノネナール及びヘキサナールを効率よく分解**した。

連絡先

関連文献：Journal of Bioscience and Bioengineering vol.114, p268-274 (2012)

株式会社 東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049 FAX 022-222-3419

お問い合わせは、[こちら](#)からお願いします。